

新しい年もみんなさんの命と暮らしを守るために全力でがんばります



ひららぎ哲也

給食費は小学校も中学校も幼稚園・保育園(こども園)も完全無料に!だれもが安心して子育てできる上越めざしてがんばります。

はしづめ法一

「ふるさとは母、ふるさとは命」
コウノトリが飛来する豊かな大地と基幹産業:農業を守ります。

上野こうえつ

病院と病床を減らす医療再編は許しません。誰もが安心して医療を受けられる上越市にします。

山本のぶこ

戦争する国づくりでなく、命と暮らしを守る政治へ。みんなさんの声をまっすぐ生かす市政をめざしてがんばります。

59の議案等を採決して12月議会閉会

日本共産党議員団は45議案等に賛成 市民の暮らし壊す14議案に毅然と反対

12月議会最終日の12月18日、党議員団を代表して平良木議員が市民生活を壊すことにつながる14の議案に対する反対討論を行いました。その概要は次の通りです。

反対討論を行います。

一般会計補正予算など6議案は、いずれも市長や議員など特別職の手当の増額に関する議案です。

賃上げはある程度進んでいると報道されていますが、市内に多い小規模事業所ではまだまだ不十分です。市民の暮らしの実情により深く寄り添るべき特別職は、安い手当引き上げは慎むべきであることから、賛成できません。

病院事業設置条例の一部改正は、労災病院からの一部の医療機能受入に伴う改正ですが、昨年9月

議会の討論で明らかにしたとおり、市が行うべきは、労災病院の閉院を前提にした同病院の機能受け入れではなく、労災病院を現在地で残すためのあらゆる方法による取組です。このように、すべきことをしない提案には反対いたします。

国保特別会計補正予算は、政府によって個人情報が一元的に収集され、国民の監視につながる危険な制度であるマイナンバー制度によるシステム整備に関係する補正です。マイナンバー制度を無批判にうけていれる予算は賛成できません。

次に、下水道条例の一部改正などの6議案は、いずれも料金や利用料の引き上げ議案です。

あらゆる物価があがり、市民生活が日に日においつめられている中、「せめて公共料金や市の施設の利用料は上げないでほしい」というのが市民の切実な願いです。市外の利用が多い観光施設はともかく、市民が頻繁に利用する施設の利用料を含めて、公共料金を上げる議案には賛成できません。以上、簡潔に反対理由を述べて、討論を終わります。

<連載「排外主義とは何か どう闘うか」は休みます>

日本共産党上越市議員団ニュース

No.893 2025年12月28日&2026年1月4日

連絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
先 平良木哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))
(事務局長) 山本信子 090-4967-0367 (仲町2(高田区))

ホームページ <https://jcpjoetsugindan.webnode.jp/>

「しんぶん赤旗」日曜版12月28日号と1月4日号は合併号です。来週は配達がありません。あらかじめご承知ください。